

坂道と路地と水辺のまち

# 愛宕学区

ATAGO



## 愛宕学区の好きなおとこ

### 場所

- 春は伊賀川のさくらがすごくきれい
- 市民ホームの池でザリガニがとれる
- 通学路でさくら、紫陽花、紅葉など地域の花や植物が見られる
- 坂が多くて見晴らしがいい。特に学校の裏庭から見る景色が好き

### きずな

- 学区が小さいので、たくさんの方が私のことを知っていてくれる。自分がいつも気にかけてもらえて、大切にされていると感じる
- 運動会など、地域の人と一緒にできる行事が多くて楽しい

### 安心

- 静かで平和
- 事故や犯罪が少ない
- 通学路に安全パトロールの人がいて安心
- 学区のおじいさん、おばあさんが登下校を見守ってくれて、「危ないよ」と声をかけてくれる

## 愛宕学区の未来予想図

- 遊園地が近くにあるといいな
- 人が増えて、小学校のクラスも増えてほしい
- 大きな公園がほしい
- 公園にバスケットゴールがほしい
- 伊賀川の中に自由に入りたい
- 岡崎のみんなに愛宕の名前と場所を知ってもらいたい
- 愛宕の伝統行事をすべて守り続けてほしい
- 大きなビルやショッピングセンターがほしい
- いままま、自然を残したい

小学生に聞きました

未来予想図を描いてみました



絵：林 さくら  
(愛宕小1年 / 平成27年度)

絵：池田 咲彩  
(愛宕小1年 / 平成27年度)



## 編集後記

過去・現在・そして未来へと、世界は総てが千変万化しています。2016年の私たちは一応平和の中に居ますが、これから30年50年と、この平和を守り続けられるのでしょうか。30年後、福島の人々は緑と笑顔に溢れる古里に戻れているのでしょうか？沖縄の人々は、青く澄んだ空を心静かに仰ぎ見上げているのでしょうか。愛宕の校庭には、子どもたちの元気な声が満ち溢れているのでしょうか。そして世界中が、2016年より少しでも平和になっているのでしょうか。

平和を望み、それを実現するのは人々の心の在り方です。「和」と「礼」の心の基本を、いつの時にも大切にしたいものです。この「岡崎まちものがたり」作りに参加して、改めて人々の和と礼の有難さ素晴らしさを、しみじみと感じさせてもらいました。そんな作成委員の仲間に、心から感謝。



みんなでワイワイ話し合い楽しく作りました

〔作成委員会〕 編集長：鍋田紘一郎 委員：彦坂圭佑 / 木全修平 / 石田英雄 / 伊藤雅巳 / 海貝紀彦 / 大加和正 / 川角憲章 / 木村 勇 / 金原照夫 / 倉橋正二 / 倉橋 一 / 清水浩吉 / 鈴木正節 / 長坂勉 / 水野 達 / 眞田眞二 / 梅田康典 (順不同)

〔参考資料〕 学区再見 / 神明宮ガイドブック / あたご文化祭40周年誌 / あたご夢のまちだより / 新編岡崎市史  
〔表紙写真〕 学区のシンボル「六供配水塔」にて、愛宕小学校平成28年度全校児童と愛宕学区まちものがたり作成委員



六供浄水場から甲山を望む(昭和初期)



小学校運動場を開墾(昭和18年)



能見北通りの風景(昭和37年)



市内電車最後の日(昭和37年)



夢のパラダイス(小学校東側の発電施設)(昭和41年)

愛宕学区

まちなりたち

- 一九一四年 ■ 大正 3
- 一九一六年 ■ 大正 5
- 一九二四年 ■ 大正 13
- 一九三三年 ■ 昭和 8
- 一九三六年 ■ 昭和 11
- 一九三九年 ■ 昭和 14
- 一九四〇年 ■ 昭和 15
- 一九四一年 ■ 昭和 16
- 一九四四年 ■ 昭和 19
- 一九四五年 ■ 昭和 20
- 一九四七年 ■ 昭和 22
- 一九五四年 ■ 昭和 29
- 一九五六年 ■ 昭和 31
- 一九六一年 ■ 昭和 36
- 一九六二年 ■ 昭和 37
- 一九六四年 ■ 昭和 39
- 一九六七年 ■ 昭和 42
- 一九七〇年 ■ 昭和 45
- 一九七三年 ■ 昭和 48
- 一九七四年 ■ 昭和 49
- 一九八三年 ■ 昭和 58
- 一九八五年 ■ 昭和 60
- 一九八七年 ■ 昭和 62
- 一九九一年 ■ 平成 3
- 一九九四年 ■ 平成 6
- 二〇〇一年 ■ 平成 13
- 二〇〇三年 ■ 平成 15
- 二〇〇四年 ■ 平成 16
- 二〇〇八年 ■ 平成 20
- 二〇〇九年 ■ 平成 21
- 二〇一一年 ■ 平成 23
- 二〇一六年 ■ 平成 28

広幡町、岡崎町に合併

岡崎市制施行(7月1日)・伊賀川改修工事竣工

能見通りを市電が走る

六供浄水場が給水開始

愛宕尋常小学校が開校

伊賀川堤に桜の植樹(昭和15年)

十三重の塔(昌光律寺)建立

岡崎市愛宕国民学校と改称

岡崎市愛宕国民学校廃校、愛知第二師範学校女子部が置かれる

空襲により市街地が大きな被害を受ける

岡崎市立葵中学校開校

市営伊賀山住宅建築

岡崎市立愛宕小学校(以下小学校と表示)として再開校

小学校に体育館完工・甲山山頂にたつきの塔が完成

市電廃止

小学校にプール完工、校内水泳大会開催

岡崎市民会館完工

小学校校舎増築工事完工

第一回学区文化祭開催

小学校校歌制定、発表会举行

愛宕学区市民ホーム開館

小学校校舎全面改築、鉄筋校舎完工、中庭に人工芝敷設

第一回学区体育祭開催

新甲山会館完工

愛宕学区こどもの家完工

学校・学区合同の第一回大運動会開催

小学校に新体育館完工

小学校に新プール完工

愛宕学区地域安全パトロール隊発足

平成20年8月末豪雨で学区400戸余りが被災

伊賀川改修工事(床上浸水対策特別緊急事業)開始

小学校運動場に雨水貯留浸透施設完成

伊賀川改修工事(床上浸水対策特別緊急事業)完了

小学校創立80周年

美しい桜並木は学区の自慢です!

学区内に存在した歴史的建造物なども焼失しました

文化祭については、特集ページでも紹介しています!

たつきの塔は、朝夕の時を告げていたミュージック塔です

DATA

人口	4,151人
男性	2,024人
女性	2,127人
世帯数	1,860世帯
面積	0.76km <sup>2</sup>

[2016年7月1日現在]

愛宕学区と各町の地名の由来

全国の愛宕神社は、京都の「愛宕神社」に由来します。愛宕山は、古くから天狗が住むと畏れられた修験道の霊場であり、修験者が全国に愛宕の地名を伝えました。

愛宕神社の本尊は勝軍地蔵と呼ばれ、平安時代の坂上田村麻呂の蝦夷征伐に由来するとも、室町幕府開祖の足利尊氏の守り本尊ともいわれます。武運を司るとして、戦国武将が自国に勝軍地蔵を奉じ、愛宕の地名が広まりました。

岡崎の愛宕神社は、徳川家康が関東移封時に本尊を江戸に遷座し、岡崎城主水野氏の時代に再興されました。現在は、伊賀町の弘正寺参道脇の祠に鎮座しています。

●伊賀町  
1470年(文明2)、松平家四代親忠(家康の五代前)が松平家の氏神として、現在の三重県伊賀市から伊賀八幡宮を遷座しました。地名はこの社名にちなみます。「伊」は神の杖を手に持つ姿すなわち聖職者を表し、「賀」は喜び祝うことを意味します。



伊賀八幡宮

●能見町  
能見町一帯はかつて広大な原野であり、平安時代末期に矢作里の兼高長者が能狂言を催し、能見ヶ原と呼ばれました。「能を見る」が地名の発祥といわれます。当時の能は中国の散楽(物真似や形態模写)が基で、大道芸人の路上演芸に近いものでした。

●六供町  
仏教では、人の輪廻を六道(天道・人間道・修羅道・畜生道・餓鬼道・地獄道)とし、人が守るべき徳目を六波羅蜜と呼びます。愛宕学区には歴史ある寺院・仏閣が多く、六供町という地名は仏教の語源に由来するといわれます。

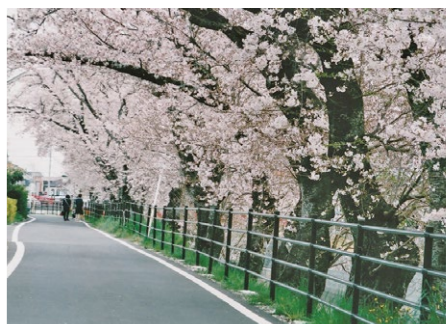
# まちものがたりマップ

愛宕は歴史と文化に彩られたまち…  
坂と路地に人の触れ合いが満ち、川面の風に人の憩いが流れ、  
街道の軒並みを人の賑わいが行き交うまち…

表紙を撮影したよ!

## 学区のシンボル A 六供配水塔

愛宕山頂の六供配水場に、昭和初期に建設されたポンプ室と配水塔があります。モダンでレトロな近代建築の魅力をまとうこの配水塔は、岡崎城天守や旧石原家住宅などとともに、市の景観重要建造物に指定されています。



**B 伊賀川河畔と懐助桜の碑**  
伊賀川の両岸に、整備された水辺遊歩道と桜の並木が続く



**C 牛角の馬頭観音**  
愛宕山から岡崎城に土を運んだ牛の供養に建立されたといわれる



## D 愛宕に伝わる悲恋ものがたり

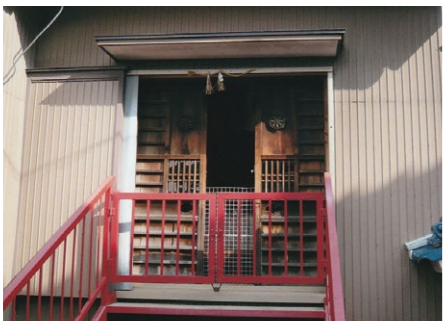
小さな丘の南北に離れた二つの場所に、江戸時代に身分違いの恋に落ちて処せられた、お福と亀蔵の慰霊塚があります。

塚となった後も、二人は寄り添うことを許されぬまま佇んでいます。

お福の塚

おふく…

亀蔵の塚



**F 勝軍地蔵**  
伊賀八幡宮の大鳥居から延びる旧塩の道(足助街道)沿いに、勝軍地蔵が鎮座する



**E 伊賀八幡宮大鳥居**  
二つの大きな鳥居をくぐり抜けた先に伊賀八幡宮がある



**H 路地と坂道の街並み**  
細い路地と坂道が迷路の様に入り組む一帯



**G 能見北商店街のえがおくん**  
能見北商店街に16体の石像が並ぶ。腰掛型・鉢植型・掲示板型がある



**J 信濃門の跡碑**  
江戸時代に旧塩の道(足助街道)の起点だった信濃門の跡地に石碑が建つ



**I 甲山古墳群跡**  
山頂にある古墳群跡。かつて朝夕の時を告げる「たつきの塔」があった

# まちのたからもの

1

学区の自慢!!  
地域の絆  
七夕祭と  
文化祭

社会教育委員会事業  
愛宕学区七夕祭

短冊に願いを託す子どもたち



その昔、小学生がお年寄りに折鶴を贈り、お年寄りがそのお礼に七夕の笹飾りを学校に贈った。そんな出来事が、今日まで続く愛宕学区七夕祭の始まりになったと云われています。この日は、学区住民の世代を超えた交流の機会です。老人クラブが、

キャンドルライトの様子



子どもたちの願いを記した短冊を行灯の笹に飾り、ポランティアグループの読み聞かせ・PTAと子ども会の合同催事・社会教育委員会のキャンドルライト・夜店バザー・打上げ花火など、学区諸団体の力を合わせた多彩な催しが繰り広げられます。

## 愛宕学区文化祭

愛宕学区文化祭は昭和48年に初めて開催され、以来数回の中

記念すべき第1回のプログラム 人気の抹茶コーナー



断を挟みながらも連続と歴史を重ね、平成26年に40回記念を迎えました。絵画・書・写真・手芸芸など、学区住民の多彩な作品が一堂に出展される愛宕の文化祭は、市内でも作品レベルが高く評価されています。一般作品と併せて、児童・教職員・PTA作品や学区在住の著名な画家・書道家の特別展さらには貴重な秘藏品のお宝展などが催されます。当日は作品展と併せ、読み聞かせ・琴クラブ児童の演奏会・PTAとお茶クラブ児童の抹茶会・PTAとお茶クラブ児童の抹茶コーナー・喫茶コーナー・親子餅つき体験・社会教育委員会の飲食バザーなど、多彩な企画で秋の一日を盛り上げます。



◁ 2014年制作のステンドグラス

## 甲山八幡宮 奉納花火

2

岡崎市民会館の西に小高くそびえる甲山に鎮座する甲山八幡宮は、松平家が安祥城主時代に城内鎮守として勧請したものが、松平清康(家康の祖父)とともに岡崎城に遷り、さらに徳川家康が岡崎城の鬼門の備えとして現在の地へ遷座したものです。毎年秋の祭礼には、地元の若衆(六甲連)による勇壮な手筒花火が奉納されます。



△甲山八幡宮本殿  
◁ 迫力満点の手筒花火

3

## 能見神明宮 大祭と山車

神明宮大祭は江戸期より岡崎三大祭の一つとして、毎年5月に斎行されています。氏子町内に8台の山車があり、独自のお囃子を奏でて町内を廻り、山車の舞台では子ども踊りが披露されます。愛宕学区では、能見北之切、能見中之切、能見南之切の3ヶ町が山車を曳き廻します。



能見北之切の山車

### 各町の山車と法被



#### 能見南之切

明治初期に建造。大正6年、二層式から単層となりました。前面柱の龍の彫刻は目にさらしが巻かれ、これはずすと祭礼に雨が降ると伝えられます。



#### 能見中之切

昭和28年、総檜造りで建造。「能中」と染められた見返り幕は、1864年(元治元)作。白の法被姿で伝統のお囃子に合わせて曳き廻します。



#### 能見北之切

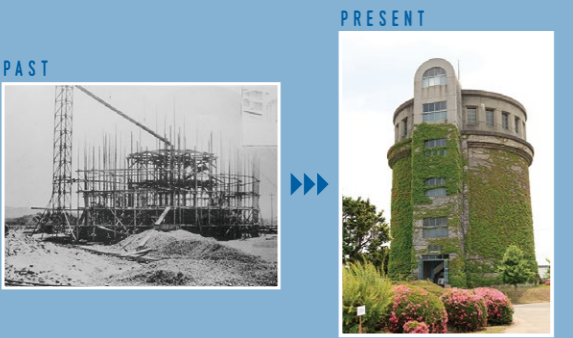
明治中頃の高層式山車の前山及び彫刻を利用し、昭和31年に建造。透かし彫りの龍は文政時代のもの。北の守り神「玄武」の法被姿で曳き廻します。

## 愛宕学区 温故知新

学区のいま・むかしを比べてみよう

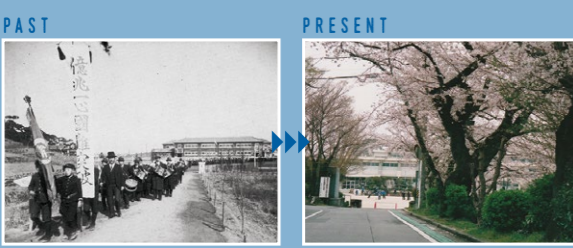
### 六供配水塔

昭和8年に岡崎初の浄水場(現配水場)が愛宕山頂に建設され、翌年にはモダンな配水塔も竣工しました。左は配水塔の建設工事風景、右は現在稼働中の葛に飾られた塔の姿です。



### 愛宕小学校の桜並木

愛宕小学校の正門前には、春になると樹齢70余年の桜並木が満開になります。左は昭和18年頃の植栽間もない幼木の姿、右は見事な枝振りの現在の桜並木です。



### 能見通りの路面電車

昭和37年まで、能見通りを市電が走っていました。康生町以北は単線のため、能見町と八幡社前にすれ違い場がありました。

